鎌ケ谷市

市民活動推進センターだるよい





エコネットかまがや (詳細は4頁に掲載)

目次

- エコネットかまがや (写真紹介) p 1
- MADD Japan (団体紹介) p2
- 県内NPO法人の認証状況 (データでみるNPO活動) p3
 - NPO ビジネスで起業する! (図書紹介) p3
 - 助成金情報(お知らせ) p4
- ボランティアに参加する時のリスク管理は? (Q&A) p 4



MADD Japan

《代表者》 飯田 和代

《所 在 地》 〒273-0123 鎌ケ谷市南初富 5-8-8

《連 絡 先》 TEL 047-444-9824

FAX 047-444-9824

e-mail: info@maddjapan.org





【ステッカー】

【ワッペン】

【活動の目的】

「飲酒運転根絶」「若者の命を酒と飲酒運転から守る教育」「被害者への支援」

【活動テーマ】

生きることを考える「学ぶ・気づく・動く」、今 後、これが大きなテーマになります。

【活動内容】

- 広報活動―インターロックデモンストレーション・赤いリボンや指名運転者バッジの普及などを通して「飲酒運転は犯罪」であることを社会に広く知らしめるための活動
- 講演活動―学校・企業・警察・裁判官・地方自 治体などへの講演
- 教育―高校・大学・新入社員・刑務所・少年院 などへの「死の教育」

【活動状況】

年間を通して、日本全国で講演、キャンペーンなどを実施しています。

【活動に至った経緯は?】

1997 年に次女(当時二十歳)を悪質な飲酒運転の暴走車に奪われました。当時の日本にはMADDのような組織が存在しなかったため 2001 年国際同盟国の公認資格を取得しました。2002 年、NPO法人MADDJapanを設立し、日本全国に活動を展開し始めました。

【実績・成果】

- 「飲酒運転は犯罪である」ことが社会的に認知 されてきたこと
- 社員研修・警察官への研修・学校教育の現場・ 運転免許センター・自動車教習所・更生施設な どへの教育指導
- 刑務所・少年院における社会復帰教育
- 学校・地域自治体への講師派遣など

【アピールポイントは?】

- 世界で確かな実績を誇るMADDの国際支部が
- 鎌ケ谷市に存在することです。また政府関係者・被害者学の研究者や大手の自動車メーカーなどから、
- 先進国の取り組みを学ぶためにアメリカMADD に毎年多数派遣されていることです。

■ 【問題点、課題は?】

- 今まで鎌ケ谷市に本部があることをPRしてこなかったので、知らない人が多い点です。
- これを機に、さらにオープンドアにし、ボランティア・被害者支援の擁護者など、興味のある方の登録を

お待ちしています。

【工夫している点】

アメリカで生まれたMADDの実利的なプログラムを日本版に直し、日本の実情に沿った内容に工夫している点です。

【今後の方向性、展開】

- 単なる飲酒運転根絶団体ではなく、今、日本で問題
- 化している「死」、とくに、若者のそばにある死について専門家とチームを組みながら防止教育の分野に
- 更なる活動範囲を広げていきたいと思っています。
 - 「被害者支援擁護受講者への資格授与」や、教職員 への死のケアの仕方についての集中講座などを組み、
- その指導者を本部で定期的に育成していきたいです。
- 若い人で、人生に疑問を持ったり、生きる意味を見 失ったりした人はぜひ、本部のドアを叩いてみてくだ
- さい。MADDには「あなたにできること」があるは
- ずです。詳細についてはホームページをご覧くださ
- ν_o http://www.maddjapan.org

【MADDとは・・・】

- Mothers Against Drunk Driving(飲酒運転に抗議する人々の会)の略です。アメリカの母親たちが創設した、世界最大規模の犯罪被害者組織です。



データでみる NPO 活動

~県内NPO法人の認証状況~

千葉県のNPO認証数は毎年順調に増加し続けています。特に平成 13 年から平成 16 年にかけては、認証数が 急激に増加し、全国順位が毎年上がりました。平成 20 年度末時点で、東京都、大阪府、神奈川県、北海道に次い で全国第五位となっています。 平成 20 年度千葉県のNPO活動推進に関する年次報告書より

内閣府所管法人(複数の都道府県に事務所 がある法人)の中で、主たる事務所が千葉県 にある団体の認証数が101件、従たる事務 所が千葉県にある団体の認証数が274件あ り、千葉県にある団体の認証数は、375件 となっています。

平成 20 年度末時点の千葉県における認証 団体数は1407件です。平成15年度末を 100とした指数の伸びは、133、165、189、 211、227 と順調に推移しておりますが、平成 15年度からの前年度比伸び率は、33、24、14 12、8%と勢いが下降気味になっています。

千葉県内の認証数を地域別(6地域)に 見てみると、総数では千葉地域、葛南 地域(市川・船橋・習志野・八千代・ 浦安)東葛飾地域(松戸・野田・柏・ 流山・我孫子・鎌ケ谷) の三地域が ほぼ拮抗、順に336、325、335件と

NPO法人認証数推移(全国と千葉県の比較) 5.000 40,000 34,371 4.500 35,000 31,116 37,198 4.000 30,000 一 千葉県 3.500 - 全国 25.000 3.000 21,286 2.500 20.000 16.160 2.000 15,000 10,664 1,305 1.500 1,169 1,021 10.000 6,596 823 1.000 3,800 724 5,000 500 H20 H₁₂ H13 H14 H15 H₁₆ H17 H18 H19 全国で7位 5位 6位 5位 4位 4位 5位 5位

· ·	地 域	H 1 5	H 1 6	H 1 7	H18	H 1 9	H 2 0	$\mathrm{H}20/\mathrm{H}15$
千葉県計		619	823	1021	1169	1305	1407	227%
内記	沢 鎌ケ谷市	7	14	17	17	18	19	271%
	松戸市	46	60	75	88	101	103	224%
	柏市	55	62	75	87	96	105	191%

この三地域の平成15年比伸び率が、224、218、213であるのに対し、東上総地域、南房総地域の伸びは266、 287と大きくなっています。東葛飾地域の状況を分析すると、この6年間の伸び率では、6地域で最低の伸びと なっています。団体数をみると鎌ケ谷市は19、柏市105、松戸市103、我孫子市42、流山市37、野田市29と なっています。鎌ケ谷市は平成15年から平成16年に、7団体から14団体に倍増、その後、4年間で5団体の 増加にとどまっています。

図書の紹介

なっています。

NPOビジネスで 起業する!

著 者 田中 尚輝 発行所 学陽書房

NPO法人市民福祉団体全国協議会専務理事、 社団法人長寿社会文化協会常務理事

「NPOビジネス」という言い方は、著者が本書ではじめてするもの です。NPOは非営利組織であり、「世のため、人のため」に活動し ますが、単なるボランティア活動ではなく、収益性のあるビジネスも 同時に行います。本書ではNPOの原理を踏まえた上で、このビジネ スの分野に焦点をあわせております。立派なNPOには、新しい先駆 的なサービスの提供と同時に、そこで働き生活で

きる人の存在が不可欠だからです。

著者が個別のNPOを支援する仕事から培った、 「NPOビジネス」の成功例や失敗の事例を わかりやすく解説したのが本書です。





お知らせ

| 助成金情報



【子ども関連特集】

子ども関連の助成をいくつかご紹介します。詳しくは各助成団体また は市民活動推進センターへお問合せください。

- 1. 子どもへの暴力防止プロジェクト助成 朝日新聞厚生文化事業団 TEL:06-6201-8008
- 2. 子ども文庫助成事業

伊藤忠記念財団 TEL: 03-3974-2650

- 3. エッセイ・コンクール (子育てをテーマにしたエッセイ) 住友生命保険相互会社 TEL: 03-3265-2283
- 4. 児童・少年の健全育成助成"広がれ、元気っこ活動" ニッセイ財団 TEL: 06-6204-4011





ボランティアに参加するときのリスク管理は?

Q. ボランティアを募集して活動に参加してもらおうと思っていますが、気をつけることはありますか。

A. ボランティアに何をしてもらうか考えずに、「とにかく来てもらう」というのでは、トラブルに繋がる恐れがあります。まず、どの活動をボランティアに担当してもらうか、それにはどういう技術や力が必要かを考えて募集し採用すること。活動開始前には、ボランティアの人と、活動時に守るべき最低限のことや守秘義務などについて、確認書を取り交わすと良いでしょう。また、活動に入る前にオリエンテーションを開き、活動の内容やそこでのリスク、役割や権限をはっきり伝えましょう。活動中は、担当のスタッフを決め、ボランティアの様子を把握するとともに、ボランティアからもわからないことを聞ける体制をとることも必要です。もしもの事故のためには、傷害保険・賠償責任保険などを掛けておきましょう。

〈「NPO なんでもどこでも相談 100 問 100 答」より〉

.・☆・.・写真の説明・.・☆・.

「エコネットかまがや」は、平成19年7月に設立した、「地球温暖化防止」を目指した地域活動団体です。 温暖化による気候変動は、今や世界規模の関心事です。 私たちは、美しい自然を未来に引き継ぐため「身近なことから始めよう」を合言葉に、その一環として、市民の方々と年に二回の「マイバック作り」に励んでいます。

使用済みの洋傘の生地を使い、カラフルなバッグは、レジ袋の削減と CO_2 を減少させることに貢献しています。

楽しく環境にやさしい「マイバッグ作り」の公募をしていますので、多くの方のご参加をお待ちしています。

- *平成22年度「マイバッグ作り」6月末頃および12月
- *定例会議 毎月第二水曜日午後(公民館 o r まなびい)
- *連絡または問合せ先 エコネットかまがや事務局 代表 西川 047-445-2832

※市 口 谷市 民 公益 ĺ 寸 カ々との対話の中かとできるだけ多くの はな 団 則 地 思 域 . き 取 材さ かの 考 民 沼活躍

発行者・所在地 鎌ケ谷市市民活動推進センター 鎌ケ谷市富岡 2-6-1 生涯学習推進センター(まなびいプラザ) 1 階

TEL/FAX 047-401-0891 / 047-401-0892

URL/e-mail http://www.collabo-kamagaya.jp// sikatu@city.kamagaya.chiba.jp